

こどもの未来とウェルビーイング推進局

局mission	次世代への投資を意識してすべての子どもの育ちを後押しし、すべての市民のウェルビーイングを実現する。
局vision	◇すべての子ども・若者が個人として尊重され、子育て・子育てに希望が持てるまちを実現する。 ◇誰もがともに生き、つながり、支えあう、人のぬくもりが感じられるまち(地域共生社会)を実現する。 ◇より多くの市民が身体的、精神的、社会的、自己存在それぞれの領域において健康な状態である。
局value	【人に寄り添う・社会に向き合う】 洞察力や想像力を働かせながら、人に寄り添い、社会に向き合うとともに、高い当事者意識のもと、多様なつながりを大切にしながら、包括的・継続的な視点を持って課題解決につなげる。
局運営方針	・すべての子どもの育ちを後押しし、保護者負担軽減と安心をサポートする。 ・多様な特性を活かし、子どもの能力を最大限に引き出す。 ・望まない孤独や生きづらさの解消など、すべての市民の命や健康、尊厳を守る。 ・市民の自己実現や生きがいづくりなど、よりよく生きるための環境を整備する。



こども子育て部	
部value	【こども・子育て世帯の安全・安心をサポート】 こどもや子育て世帯に寄り添うとともに、高い当事者意識のもと、こどもの最善の利益の実現に向けて、包括的・継続的な視点をもって課題解決につなげる。
部運営方針	・子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、こどもと向き合える環境を整え、保護者としての自覚と責任を高めつつ、こども・若者の権利と健やかな発達が保障される社会の実現を目指して取り組む。 ・地域における多様な人材や資源を活用し、こどもの能力が最大限引き出されるよう、特性に合わせた子育て支援に取り組む。 ・妊娠・出産期から成人へと成長するまでの間の切れ目ない相談・支援に取り組む。
実績	・おむつ定期便や手つなぎ登園、5歳児健診などの新規施策及び、保育園等での副食費無償化やこども食費支援などの物価高騰対策の実施などを通じて、子育て世帯に対する負担軽減や不安感・孤立感の解消に取り組んだ。 ・民間園・民生委員児童委員協議会・社会福祉協議会などの関係機関と連携し、個々のこどもや子育て家庭に合わせた子育て支援に取り組んだ。 ・ゆめつく、あいつく、こども相談総合窓口による包括的な相談支援体制や、多機関との連携による切れ目ない支援体制の推進に取り組んだ。

まちインクルー部	
部value	【地域のつながり、支えあいをサポート】 誰もが安心して住み慣れた地域で暮らしていけるよう地域のつながりや支えあいを寄り添い支援する。 また、包括的かつ公正な視点を持って社会保障制度を適正に運営するように努める。
部運営方針	・多様な主体による地域福祉活動を推進し、多機関連携・協働による地域を支える基盤を整備する。 ・地域福祉の担い手の育成と、地域で課題を受け止められる体制づくりを支援する。 ・生活保護制度、障がい者福祉制度、高齢者福祉制度等を適正に運営し、必要とする人に寄り添ったサービスを提供する。
実績	・包括的な支援体制の構築に向けて、連携の仕組みづくりや連携強化に向けた意識醸成などを進め、重層的支援体制整備事業の充実と地域包括ケアシステムの深化を図った。多様な主体が多様な手法で支援の隙間を埋められる仕組みとして「HOTねっと」を立ち上げた。 ・地域活動にかかわる人を増やし、つながりを広げることで、地域で課題を受け止められる体制づくりが進むよう、地域福祉計画を策定した。また、住民主体の生活支援活動団体の立ち上げに向けた支援を実施した。(2団体立ち上げ) ・市内事業所を対象とした合理的配慮講座などを実施し、障がい者への理解促進に努めた。 ・生活保護制度、障がい者福祉制度、高齢者福祉制度など各種福祉制度を適正に運営し、必要とする人に寄り添ったサービスを提供した。

総合健康部	
部value	【市民の健康と安心な暮らしをサポート】 人に寄り添い、社会に向き合うとともに、高い当事者意識のもと、多様なつながりを大切にしながら、包括的・継続的な視点を持って課題解決につなげる。また、安心・安定した市民生活の基盤である社会保障制度について、高い使命感を持って適正運営に努める。
部運営方針	・市民の誰もが、住み慣れたまちで健康で安心して暮らし続けられるよう、ライフステージに応じた多様な支援策に取り組む。 ・疾病予防や健康づくりを推進し、市民の健康寿命の延伸を目指す。また、心の健康支援体制を強化し、早期の気づきと支援ができる環境を整える。 ・市民の安心や生活の安定を支える社会保障制度の適正運営に努める。 ・介護ニーズの現状や課題を把握するとともに、新たなニーズに対応するため、介護サービス基盤の整備を推進し、第10期介護保険事業計画の策定に取り組む。
実績	・市民が住み慣れた地域で健康で安心して暮らし続けられるよう、ライフステージに応じた保健・医療・福祉施策の推進に努めた。 ・がん検診や特定健診の受診促進に加え、大阪府内初となる男性へのHPVワクチン接種を開始するなど、疾病予防や健康づくりを推進した。また、心の健康相談支援の充実に努めた。 ・医療費の適正化や医薬品の適正利用の推進、収納率の確保を図り、社会保障制度の適正な運営に努めた。 ・第10期介護保険事業計画の策定に向けアンケート調査を実施し、介護ニーズの把握に努めた。

ウェルネス推進課(局直轄課)	
該当する局運営方針	・市民の自己実現や生きがいづくりなど、よりよく生きるための環境を整備する。
実績	・本市がめざすウェルビーイング施策の方向性を整理・確認し、市民に広く周知した。 ・身体的・精神的なウェルビーイングの推進に向けた情報発信事業を開始した。 ・「なりたい自分に近づく」ための専門デスクの方向性を整理し、次年度に実施予定の試行事業の準備を行った。 ・遠隔診療実証事業について、市医師会の協力のもと実証の継続と活用を検討を行い、次年度から実施予定の実装支援事業につなげた。